

Q&A

Q. レジデント修了後の就職先は？

A. これまでのほとんどのレジデント修了生が当院薬剤部の特定有期職員として入職しました。

Q. 認定や専門薬剤師の取得に支援は？

A. 当薬剤部では認定や専門薬剤師の取得を推奨していますので、取得に必要な申請費用や講習参加費用等を支援しています。

Q. レジデントに求められる人物像は？

A. 患者のために薬剤師として何が出来るかを自身で考え、自主的に行動できる人が望まれます。また、自己研鑽のモチベーションの高さも大切です。

Q. レジデント期間中の研究はどのように行うの？

A. テーマは自身で考えたものや薬剤部職員から提案されたもので行います。研究メンターが計画から実施、解析、発表までをサポートします。

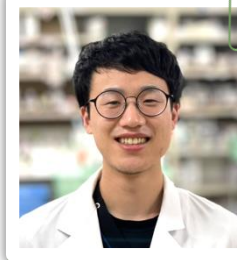
先輩からのメッセージ



2019年レジデント修了
修了後勤務年数 6年目
糖尿病療養指導士

菅生 有夏

レジデントプログラムでは幅広い業務を経験し、各部署の繋がりを感じながら病院薬剤師の業務全般を深く学ぶことができました。中でも私は糖尿病カンファレンスへの参加で糖尿病療養支援に興味を持ち、現在は糖尿病療養指導士の資格を取得し、糖尿病患者の療養支援に励んでいます。



2022年レジデント修了
修了後勤務年数 3年目
病院薬学認定薬剤師

高橋 慶

研修1年目は様々な部署を経験しました。2年目に私は糖尿病腎臓病専門コースを選択し、糖尿病内分泌内科病棟やNEST（当院の栄養サポートチーム）での研修を経て、現在は病院薬学認定薬剤師を取得後、病棟薬剤管理業務を中心に業務・教育・研究に取り組んでいます。



2023年レジデント修了
修了後勤務年数 2年目

古江 由依

まずは臨床のジェネラルな知識を身に付けたいと考えていた私にとって、当プログラムはまさに理想でした。2年間で多様な診療科の病棟業務を経験することができ、処方箋を俯瞰的に捉える力を養うことができました。また、研究面でも先生方にご指導いただき、学会発表でも賞を受賞することができました。



2024年レジデント
(2年目)

佐伯 龍之介

私は基礎を鍛えながら自らの視野を広げたいと考え、当プログラムを志望しました。1年目は様々な部署を経験し、教育・研究活動にも携わることができました。現在は感染症専門コースへ進み、抗菌薬適正使用支援(Big gun)プロジェクトチームに参加するなど、より良い薬物治療へ貢献すべく日々研修に励んでいます。

プログラム詳細

スケジュール詳細、レジデントプログラムの概要、Kobe-PRSについては神戸大学医学部附属病院薬剤部オリジナルホームページをご確認ください。下のQRコードから読み取ることもできます。応募前には必ずご確認ください。
<http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/yakuzai/>

問い合わせ先

神戸大学医学部附属病院薬剤部（担当：大村）
〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-2
TEL: 078-382-5111



神戸大学医学部附属病院薬剤部
オリジナルホームページ



神戸大学医学部附属病院薬剤部
Facebookページ



神戸大学医学部附属病院薬剤部
Department of Pharmacy, Kobe University Hospital

薬剤師レジデントプログラム



薬剤部の概要

スタッフ

薬剤師 定員78名
神戸大学薬剤師レジデント 4名
神戸薬科大学薬剤師レジデント 2名
事務補佐員・技能補佐員 6名
派遣職員 2名
委託職員 3名
(2024年11月1日現在)

認定・専門薬剤師

■ 日本医療薬学会／医療薬学指導薬剤師
■ 日本医療薬学会／医療薬学専門薬剤師
■ 日本医療薬学会／がん専門薬剤師
■ 日本医療薬学会／薬物療法専門薬剤師
■ 日本病院薬剤師会／病院薬学認定薬剤師
■ 日本病院薬剤師会／感染制御専門薬剤師
■ 日本病院薬剤師会／感染制御認定薬剤師
■ 日本病院薬剤師会／HIV感染症薬物療法認定薬剤師
■ 日本病院薬剤師会／妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師
■ 日本病院薬剤師会／認定指導薬剤師
■ 日本薬剤師研修センター／認定薬剤師
■ 日本薬剤師研修センター／認定実務実習指導薬剤師
■ 日本薬剤師研修センター／小児薬物療法認定薬剤師
■ 日本薬剤師研修センター・日本生薬学会／漢方・生薬認定薬剤師
■ 日本臨床薬理学会／指導薬剤師
■ 日本臨床薬理学会／認定薬剤師
■ 日本臨床薬理学会／認定CRC（薬剤師）

■ 日本緩和医療薬学会／緩和薬物療法認定薬剤師
■ 日本緩和医療薬学会／緩和医療暫定指導薬剤師
■ 日本老年薬学会／老年薬学指導薬剤師
■ 日本老年薬学会／老年薬学認定薬剤師
■ 日本臨床救急医学会／救急認定薬剤師
■ 日本臨床救急医学会／救急専門薬剤師
■ 日本化学療法学会／抗がん化学療法認定薬剤師
■ 日本医薬品情報学会／医薬品情報専門薬剤師
■ 日本リウマチ財団／リウマチ登録薬剤師
■ ICD制度協議会／インフェクションコントロールドクター
■ 日本アンチ・ドーピング機構／公認スポーツファーマシスト
■ 日本臨床栄養代謝学会／栄養サポートチーム専門療法士
■ 日本糖尿病療養指導士（薬剤師）
■ 日本循環器学会／心不全療養指導士
■ 日本臨床試験学会／認定がん臨床研究専門職

のべ144名

神戸大学医学部附属病院薬剤部の4つのミッション

患者中心のチーム医療を実践する

- ✓ 薬剤師業務を地道に行う
- ✓ 業務の効率化と新規業務の開発
- ✓ 安全性と経済性のバランス感覚を養う



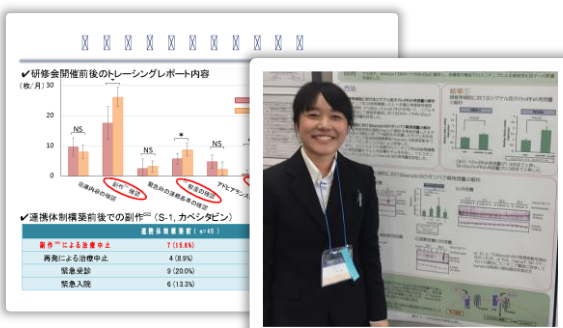
10年後の医療を牽引する薬剤師を育成する

- ✓ 薬学部卒前教育への貢献
- ✓ 初期レジデント制度の充実
- ✓ 認定・専門薬剤師及び学位取得の支援



明日の薬物治療に変化をもたらす

- ✓ 薬剤業務の科学的評価
- ✓ 計画的な学会発表
- ✓ 研究成果の論文化



兵庫県の医療に貢献する

- ✓ 認定施設として研修生の積極的受入れ
- ✓ 地域での勉強会や活動の推進
- ✓ 人材確保と人材交流



レジデントプログラム

プログラムは原則1年ですが、希望に応じて2年のコースを選択することができます。

医療薬学一般コース（1年目）

「**薬剤師としての基本的な臨床能力と専門性を修得すること**」を目的として、薬剤部内での各部署をローテーションします。また、早期から病棟研修も行い、入院患者の持参薬確認、服薬指導、薬物治療管理、退院時指導などを担当するとともに、各診療科の症例検討会やカンファレンスに参加してもらいます。さらに教育や研究活動も従事してもらいます。

医療薬学専門コース（2年目）

「**より専門性の高い臨床薬剤師の業務を経験すること**で質の高いチーム医療を実践できる高度な知識ならびに技能を修得すること」を目的として、各専門コース（がん、薬物療法、糖尿病・腎臓病、感染症、小児・妊婦・授乳婦）を選択し、関連の病棟業務およびチーム医療に従事してもらいます。また、臨床研究の成果をまとめ、発表・報告を行います。

薬剤師レジデント 医療薬学一般コース（1年目）

到達目標：標準的な薬物療法に関する提案・介入・評価を行うことができる

		第1クール		第2クール		第3クール		第4クール			第5クール		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務 スケジュール (17:15までに 全業務を終え る)	午前	調剤	調剤/製剤/化療	製剤/化療/DI/OPE・ICU			病棟②	調剤/TDM/化療			病棟④		
	午後			病棟①（ピンク病棟）			病棟②（青病棟）	病棟③（黄病棟）					
	チーム医療					DM教室	緩和 / NEST / ICT (1ヶ月ずつ)						
	症例検討会	スキルアップセミナー：毎週											
	スキルアップセミナー	症例検討会：毎月											
教育 スケジュール	実務実習指導	薬学実務実習指導											
	PBL										PBL		
	臨床医学基本実習								実習				
	IPW									IPW			
研究 スケジュール	臨床研究	研究テーマの選定					計画書作成	データ収集・解析					
	発表						研究検討会						各種学会
評価	レジデントレポート	毎月1回											
	症例レポート			毎月1例以上									
	成果発表会										成果発表会		
	Kobe-PRS	到達度評価	到達度評価	到達度評価	到達度評価	到達度評価	到達度評価	到達度評価	到達度評価	到達度評価	到達度評価	到達度評価	到達度評価
	研究評価			研究面談			研究面談		研究面談		研究面談		研究面談
	業務評価		サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談	サポート面談
	全体評価	部長面談		副部長面談		副部長面談		副部長面談		副部長面談		副部長面談	部長面談

注）調剤：内服・外用・注射薬調剤を含む 化療：外来化学療法室（通院治療室）

ここがPOINT!!

- ✓ 1年でほぼ全部署を経験
- ✓ 早期から長期間病棟業務に従事
- ✓ 到達度評価（Kobe-PRS）によるスキルアップ
- ✓ 充実のサポート体制
研修メンター
研究メンター
プリセプター
- ✓ 充実の部内セミナー
スキルアップセミナー
症例検討会
- ✓ 疾患や薬効に関わる研究のみならず、薬剤部としての取り組みに関するテーマも
- ✓ 薬学部の事前実習や実務実習
- ✓ 医学部教育にも従事
- ✓ 多職種協働のグループワークにも参加

Kobe-PRSとは？

薬剤部各部署で設定した学習成果に基づく3段階ルーブリック表です。この評価表の適用により業務に必要な知識と技能を効率的に習得することができます。

Kobe-PRS 研修部署名：調剤室・薬品管理室 研修目標：適切かつ安全な薬物治療が実施されるように調剤を行うことができる

観点	レベル		
	3（理想的な薬剤師レベル）	2（研修終了時に期待されるレベル）	1（研修開始2週間程度かけて到達するレベル）
内服・外用・注射薬の処方監査・疑義照会	必要に応じてカルテから患者背景や病態等の情報を収集し、それらを考慮した上で、処方内容が適切であるかどうかを評価し、疑義照会を含め適切な処方提案ができる。	処方箋の基本的な記載事項が適切であるかどうかを判断し、不備があった際に疑義照会を行うことができる。	処方箋の基本的な記載事項が適切であるかどうかを判断することができる。
内服・外用・注射薬の処方箋に基づく調剤	—	一包化、錠剤の粉砕、剤形選択、配合変化の回避、安定性の確保等、工夫を必要とする調剤について、添付文書、インタビューフォーム、各種書籍等を用いて適切に判断し、調剤を行うことができる。	計数、計量調剤（散剤、水剤、外用剤）を内規に沿って正確に行うことができる。